てだこ市民大学

てだこ市民大学第５期生

「卒業研究レポート」概要集

＜第５期生　３０名＞

コミュニティビジネス・地域振興学部・・・・３名

健康福祉・スポーツ振興学部・・・・・・・・７名

文化振興・教養学部・・・・・・・・・・・・１５名

地域・学校支援コーディネーター養成学部・・５名

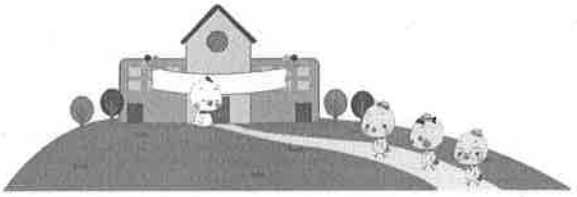
平成２７年３月１日

浦添市てだこ市民大学

平成26年度　卒業研究テーマ

コミュニティビジネス・地域振興学部

	氏　名	テ　ー　マ
1	諸見川　清徳	浦添市民の１割をバイリンガルにする
2	岡田　ひろ子	更生保護活動を通して地域を支える ～　潤いのある地域をめざして　～
3		



てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：コミュニティビジネス・地域振興学部

氏　名：　諸見川　清徳

1．テーマ

浦添市民の１割をバイリンガルにする
～英語は乳幼児から～

2．テーマ設定理由

1）インターネットを始めとする通信機器の発達で世界が同時進行する中で国内だけの情報だけでは持続的な発展はできない時代になった。

2）浦添市では「太陽と緑にあふれた国際性ゆたかな文化都市」、県では英語立県構想、国では小学校の英語教育導入を進めている。

3）我が家ではすでにバイリンガルを実施している。

※詳細は次ページ参照

3．項立て（研究内容）

(1) 自分の４年前の新聞投稿を振り返る
(2) 我が家のバイリンガルの状況
(3) モンテッソーリ法とバイリンガルの関係づけ
(4) 我が家の英語環境を浦添市で展開すれば市民の１割をバイリンガルに出来る。
(5) 浦添市に英語村を構築する
(6) サポート人材の確保

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：コミュニティビジネス・地域振興学部

氏　名：岡　田　ひろ子

1．テーマ

更生保護活動を通して地域を支える
～潤いのある地域をめざして～

2．テーマ設定理由

平成17年度から牧港地域で更生保護（保護司）の活動を行い、多くの方々の就学や就労活動に向けた支援をしてきました。その活動を通して支援される側が生き生きと社会に羽ばたき仕事に就き、元気よく頑張っている成果を発表することにしました。

3．項立て（概要でも良い）

1．はじめに

2．内容　①（学習支援：家庭教師の場）

3．内容　②（就学：就労の場）

4．青少年の居場所を提供
（地域の青年エイサーに繋ぐ）

5．子どもの貧困の解消のため学力を身につける

6．終わりに（まとめ）

平成26年度　卒業研究テーマ

健康福祉・スポーツ振興学部

	氏　名	テ　ー　マ
1	狩俣　一郎	浦添市における地域で市民の生活を支える仕組みの現状と課題
2	久貝　登志夫	スポーツクラブを通した地域コミュニティーづくり ～浦添市の人づくり・健康づくり・安心づくりに貢献～
3	当山　　弘枝	「浦添市版 認知症の方が安心して暮らせるまちづくり」 ～民生委員・児童委員活動を通した地域福祉活動～
4	濱元　邦江	防災福祉とは！を学んで　私は？
5	比嘉　英子	ノルディックウォーキングについて
6	比嘉　津代子	～　太極拳・健康好！　～
7	源　　春子	「長寿県を目指して」健康は操体法で！

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　健康福祉・スポーツ振興学部

氏　名：　狩俣　一郎

1．テーマ

浦添市における地域で市民の生活を支える仕組みの現状と課題

2．テーマ設定理由

浦添市では大きく変容していく今後の社会状況に対応する為、　第四次地域福祉計画に基づき様々な取組みが行われている。

現在、地域包括ケアシステムの構築が急務とされ、地域住民が住み慣れた地域で、安心して最後まで暮らせる仕組みを市民が当事者となって、今後作り上げていく必要が有ることは周知の事実かと思われるが、実際に一個人としてどのような役割を担う必要があるのか、また、実際にどのような援助を受けることができるのかについては制度が多方面にわたっている事もあり、なかなか実感しにくい現状が存在する。

本研究では、浦添市での具体的な取組みについて把握することと、将来に向けて一市民としてどのように関わっていけばよいのかについて検討を行った。

3．項立て（概要でも良い）

1、はじめに

2、浦添市の状況

参考1)　政策３　ともに支え合う健康福祉都市

参考２）政策５　ひと・まち・未来が輝く市民協働都市

参考３）第四次地域福祉計画（平成２６年３月）てだこ・結いプラン

参考４）地域福祉計画の目指す支え合いの仕組み

（１）メディカルインフォメーション

（２）在宅医療ネットワーク

（３）地域ケア会議

（４）中学校区地域保健福祉センター

（５）コミュニティーソーシャルワーカー

参考５）ＣＳＷ事業の推進体制について

3、地域の状況

4、今後の課題（私見）

5、謝辞

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　健康福祉・スポーツ振興学部

氏　名：　久貝　登志夫

1．テーマ

スポーツクラブを通した地域コミュニティーづくり
～浦添市の人づくり・健康づくり・安心づくりに貢献～

2．テーマ設定理由

私は仲西地域に住み、長年、様々な地域活動に参加してきましたが、参加する顔ぶれが大体同じで参加者も少なく感じます。そのため、地域型総合スポーツクラブを通して、もっと多くの方々が気軽に参加できれば、様々な地域活動もますます活発になると考え、今回のテーマとした。

3．項立て（概要でも良い）

1、テーマ設定理由
2、本　論
　1）総合型地域スポーツクラブとは
　2）ふれあい仲西スポーツクラブとは
　3）スポーツの効用について
　　（1）スポーツは参加者の健康づくりに役立つ
　　（2）スポーツは世代間・地域の交流を推進する
　　（3）スポーツは子ども達に社会性を身につけさせる教育的効果がある
　4）浦添市の概況と課題
　　（1）自治会加入率
　　（2）地域コミュニティーづくり
　5）ふれあい仲西スポーツクラブの現状と課題
3、まとめ
　参考文献

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　健康福祉・スポーツ振興学部

氏　名：　当　山　弘　枝

1．テーマ

「浦添市版 認知症の方や家族が安心して暮らせるまちづくり」
～　民生委員・児童委員活動を通した地域福祉活動　～

2．テーマ設定理由

平成２６年９月１７日付の『家族に物忘れ等の異変を感じながらも、病院を受診するまでに平均で９カ月半かかっている』という沖縄タイムスの記事を読んで、私は、「認知症にかかると、その人の人生は終わってしまうのか？　そんなにこの病気は怖いものなのか？どうしようもないものなのか？」という疑問を持った。

６５歳以上の人口は現在３０００万人を超え、国民の４人に１人が高齢者である。２０１２年の厚生労働省の調査では、認知症の患者はすでに４６２万人に達しており、団塊の世代が後期高齢者となる２０２５年には、患者数が７００万人を超えるとみられている。

私の両親も８０歳を迎え、地域の女性部や民生委員を通して、地域の高齢者の方々と接する機会も増え、身近な問題であると思った。決して他人事ではなく、誰にでも起こりうる病気として認知症を正しく理解し、認知症の方が安心して暮らせるためのまちづくりがいま必要であると思いテーマとした。

3．項立て（概要でも良い）

１、テーマ設定の理由
２、研究内容
　１）認知症とは
　２）認知症の原因
　３）認知症と生活課題
　４）浦添市の社会福祉活動
　　①自治会活動と加入率
　　②民生委員・児童委員活動
　　③要介護認定の状況
　　④地域包括ケアシステム
　５）先進地の取組み
　　①福岡県大牟田市の実践
　　②熊本県の実践
　６）浦添市の地域福祉
　　①中学校区地域保健福祉センター
　　②地域包括支援センター
　７）浦添市の課題と展望
　　①認知症家族の現状課題
　　②認知症サポーターの養成と活動
　　③地域住民と福祉教育の必要性
　　④ＳＯＳネットワークの構築
３、まとめ
４、おわりに
　参考文献・添付資料

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　健康福祉・スポーツ振興学部

氏　名：　濱元 邦江

1．テーマ

「防災福祉とは！」を学んで　私は？

2．テーマ設定理由

「災害への対応」の講義を受け、身近なところで起こり得る災害に自分も身を守りながら、他者の身も守り、地域の手助けもしたい。その為にパニックにならず、スムーズに手助けする為にどうすれば良いか、考えてみたいと思いました。

3．項立て（概要でも良い）

1、はじめに
2、災害直後の状況について（講義内容より）
　1）阪神・淡路大震災
　2）東日本大震災
　3）台風・風水害
　4）震災時役立ったベスト１０
　5）意外に役たった物
　6）あって助かった５つ道具
3、浦添市の状況について
4、防災福祉について（柏市防災福祉 K－Net より）
5、災害時の心得
6、まとめ

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　健康福祉・スポーツ振興学部

氏　名：　比嘉 英子

1．テーマ

ノルディックウォーキングについて

2．テーマ設定理由

今から 3 年位前にいつも運動に行っているところの運動指導士の方にノルディックウォーキングの指導を受けた。始めは、あまり歩けなかったが、2ケ月程でコツをつかみ慣れてきた。それから、サークルに入り、週2回のペースで活動するようになり、そしてインストラクターの資格を取ることができた。その資格を活かしながら、各々が抱えている様々な健康問題を解決できるひとつとしてノルディックウォーキングの普及に努めたいと考え、今回のテーマとした。

3．項立て（概要でも良い）

1、ノルディックウォーキングとは
2、ノルディックウォーキングの利点
3、ノルディックウォーキングの運動効果
　1）体の部位別の筋肉効果について
　2）滋賀県立大学大学院・滋賀県東近江市が発表した「6ケ月間のストックウォーキングおよびノーマルウォーキングが血液性状・形態・機能に及ぼす影響について
4、まとめ
5、謝辞
6、参考文献・引用文献など

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　健康福祉・スポーツ振興学部

氏　名：　比嘉 津代子

1．テーマ

～　太極拳・健康好！　～

2．テーマ設定理由

太極拳は中国４千年の歴史の中でおこり、悠久の重みがあって現在まで緩やかに発展してきた、一種の武術である。
太極拳を健康法・養生功の一つと考え、ゆったりとした動きの中で体全体を強くし、体力アップを図る。老若男女を問わず、どなたでもできる太極拳を目指して、普及できたらと思いテーマとした。

3．項立て（概要でも良い）

１、はじめに
２、本　論
　１）太極拳名称の由来
　２）太極拳の基本原理
　３）太極拳の実技・運動
　４）養生功としての太極拳（実践）
３、おわりに
４、参考文献・引用文献

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　健康福祉・スポーツ振興学部

氏　名：　源　　春　子

1．テーマ

「長寿県を目指して」
健康は操体法で！

2．テーマ設定理由

「長寿県を目指して」
操体法は、身体の健康を守り、健全な精神力を養う適度な運動療法です。
病は、すべて生活習慣の中から発生している。
よって、私達の地域から病をなくすため、操体法を取り入れ普及させたいとの思いで、このテーマを設定しました。

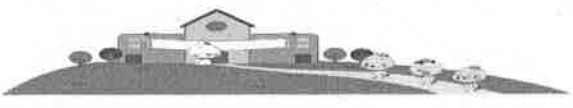
3．項立て（概要でも良い）

1、はじめに
2、自分でつくろう自分の健康
3、操体法教室
4、操体法の課題
5、まとめ
6、謝　辞

平成26年度 卒業研究テーマ

文化振興・教養学部

No.	氏　　名	テ　　ー　　マ
1	内間　真理子	城（グスク）復元と浦添の観光 （健康、観光、うといむちを市民の手で）
2	亀川　郁子	地域にある文化史跡を知り、伝えよう
3	金城　節子	大正琴との出逢い
4	金城　秀樹	組踊り ～組踊りを知り・楽しみ、伝統の力～
5	佐久川俊英	沖縄人について考える ～沖縄の独自性や大和文化との交流から～
6	下地　喜美	沢岻地区散策マップ
7	砂川　陽一	沖縄芝居雑考
8	平良　テル子	ボランティアで築く社会 ～ボランティアは生涯学習～
9	豊元　康伸	振り返る大平の歴史
10	仲田　里枝子	琉球舞踊で生涯学習
11	仲間　盛吉	浦添と尚寧王
12	中村　文男	三線について
13	宮城　良典	浦添てだこまつりの沿革と課題について
14	宮里　廣美	義母の戦争体験を語り継いで
15	銘苅　俊一	屋富祖通りの活性化



卒　業　研　究

てだこ市民大学

学部名：　文化振興教養　　学部
氏　名：　内間　真理子

1．テーマ

城（グスク）復元と浦添の観光
（健康、観光、うといむちを市民の手で）

2．テーマ設定理由

琉球国中山三王統　舜天王、英祖王、察度王の居城である浦添グスクを復元し、我がまちの誇りとして市民が心豊かに暮せることを願って、観光事業と合わせて研究してみたい。
　また、国指定史跡であり浦添ｸﾞｽｸの世界遺産登録は、市民共通の願いである。城を活用しながら浦添市が観光で発展できる方策を提案したい。

3．項立て（概要でも良い）

1　城をステージとした行事について

2　うらおそいアート＆クラフトフェスティバル

3　うらそえの観光コース

4　体験コース

5　市内の施設の活用

6　市の行事への参加

7　各字行事への参加

8　これらを実現するために

9　終わりに

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　文化教養振興　学部

氏　名：　亀川　郁子

1．テーマ

地域にある文化史跡を知り、伝えよう

2．テーマ設定理由

琉球王都の所在地が、首里以前は浦添にあった名残が市内に見うけられる。それらの文化遺産等を目にするとき、古代のロマンを感じると共に誇りに思える。その中で、浦添城から首里城へ身を移し国王とならざるを得なかった尚寧が、首里と浦添を繋ぐ通称「尚寧王の道」を整備したように、私達の住む当山地区に「当山の石畳」がある。

石畳が、いつ頃、どのような経緯で整備され、祖先が使用し、現状に至っているかを知り、継承の手立てにばればと考え「当山の石畳」について調べることにした。

地域を中学校区域という視点で見ると、小学校近くに「当山の石畳」、中学校正門前に「おもろの碑」があることに着目し、建立の経緯や、句の意味を知り、伝承できればと思い、「おもろの碑」にも触れてみたいと考えテーマを設定した。

3．項立て（概要でも良い）

1、「宿道」について
2、「当山の石畳道」
3、「おもろの碑」
4、考察・今後の課題

※参考文献

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　文化教養振興　学部

氏　名：　金城　節子

1．テーマ

大正琴との出逢い

2．テーマ設定理由

大正琴サークルで大正琴の演奏を学び、生きがいづくりに役立つかと思って本テーマを設定した。

3．項立て（概要でも良い）

①大正琴の歴史・奏法

②もみじ会の活動

③演奏活動（ボランティア）

④２０周年チャリティコンサート

⑤まとめ

⑥おわりに

※参考資料

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　文化振興教養学部（第５期）

氏　名：　金城 秀樹

１．テーマ

組踊り

～　組踊を知り・楽しみ、伝統の力　～

２．テーマ設定理由

私自身が組踊りを観たい(理解したい)との思いで、市民大学に入学し講義の一つとして組踊りについて学び深さを知り鑑賞し面白さを知ることになったので選定した。

３．項立て（概要でも良い）

１．組踊りとは

２．組踊りの誕生

３．組踊りの演出

４．組踊伝承の（大衆化）

５．伝統の力

６．おわりに

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　文化教養振興　学部

氏　名：　佐久川　俊英

1．テーマ

沖縄人について考える
～沖縄の独自性や大和文化との交流から～

2．テーマ設定理由

沖縄県は、日本の最西南端に位置し中国や東南アジアと近いという地理的条件から周辺諸国との対外貿易によって発展を遂げてきた。また、周辺諸国から入ってきた多くの文化を吸収し、自らのアイデンティティを発揮しながら独自の文化を形成してきた。歴史的には、古くより琉球王国として中国との交流を行っていた。その後、薩摩侵略から琉球処分また国内唯一の地上戦が行われた場であり、戦後のアメリカ統治、沖縄返還と激動且つ受難の歴史を歩んできた。

このような変遷における差別や抑圧・侵略の歴史は、沖縄人の考え方や生き方に多大な影響を与えたと考えられる。ここでは、沖縄の独自性や大和文化との交流から沖縄人のアイデンティティに迫ってみたいと考え、上記のテーマを設定した。

3．項立て（概要でも良い）

1、沖縄のプロフィール
2、日本の中の異国である
3、沖縄のこころと横型共生社会
4、東アジアに於ける本土と沖縄の遺伝子の類似性
5、まとめ

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　文化振興教養　　学部

氏　名：　下 地　喜 美

1．テーマ

沢岻地区散策マップ

2．テーマ設定理由

沢岻地区の史跡の位置や公共物（建物）等を再確認し、

理解を深める為にこのテーマを設定しました。

3．項立て（概要でも良い）

1、浦添御殿の墓

2、沢岻按司墓

3、東樋川

4、沢岻拝所

5、慰霊の碑

6、カニマン御嶽

7、沢岻ヒージャー

8、おもろの碑

9、子供１１０番の家

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　文化振興教養　学部

氏　名：　砂川　陽一

1．テーマ

沖縄芝居雑考

2．テーマ設定理由

沖縄の貴重な文化である沖縄芝居について、歴史を辿りながら雑考としてまとめたいと考え、本テーマを設定した。

3．項立て（概要でも良い）

○　沖縄芝居の概要

1、沖縄芝居のはじまり
2、カジマヤー芝居
3、壬辰座か妊娠座か
4、最初の琉球歌劇
5、芝居の観客
6、沖縄で最初の女優
7、歌劇の上演禁止
8、芝居見物禁止の規則
9、規制に縛られた戦前の沖縄芝居
10、沖縄芝居実験劇場の誕生

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　文化教養振興　学部

氏　名：　平良　テル子

1．テーマ

ボランティアで築く社会
～ボランティアは生涯学習～

2．テーマ設定理由

平成23年3月の東日本大震災では、多くのボランティア活動があった。改めて「人の絆」の大切さを考えさせられた。人間関係が希薄化する現代社会には、ボランティアは必要である。それは、子どもの頃から養うことによって、自然にボランティア活動ができる。

今の学校教育は、学業、スポーツにはかなり力を入れており、優秀な児童生徒が多い。だが、学業はよい学校に進学するため、スポーツはあまりにも勝敗にこだわる面がある。

そんな中で、奉仕の精神が弱い。学校の授業にボアンティア活動を取りれることを提案したい。これによっていじめや不登校も少なくなる。

3．項立て（概要でも良い）

（1）子どもボランティア
　＊浦添中学校生徒ボランティア
（2）私が関わっているボランティアグループ・団体
　＊特別養護老人ホーム
　　ありあけの里・ホーム喫茶「らくらく」
　＊社交会「カサブランカ」
（3）その他の活動
　＊グリーンハイツ自治会要援護者支援会議
　＊グリーンハイツ自治会ふれあい相談室
（4）ボランティアの活動・まとめ

参考資料：浦添中学校区コミュニティづくり推進委員会（市社会福祉協議会）
浦添中学校区児童生徒ボランティア普及活動報告書

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　文化振興教養　　学部

氏　名：　豊元　康伸

1．テーマ

振り返る大平の歴史

2．テーマ設定理由

私は生まれも育ちも大平出身です。
そこで、大平の文化や歴史を習得して今後の若い世代に大平の素晴らしさを知ってもらうきっかけになって欲しいと考え、今回のテーマにしました。

3．項立て（概要でも良い）

(1)大平の始まり

(2)大平の文化と人々

(3)出身地の方々へのインタビュー

(4)自治会長の大平に対する思い

(5)終わりに

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　文化教養振興　学部

氏　名：　仲 田　里 枝 子

1．テーマ

琉球舞踊で生涯学習

2．テーマ設定理由

私自身、５０才より琉舞に掛かり、その奥深さに、ただ前向きに舞って来ました。

その成果を子どもや老人にボランティアで楽しんで、喜ばれています。

3．項立て（概要でも良い）

その昔、琉球舞踊は宮廷舞踊とされています

1、古典舞踊　→　祝儀舞踊

2、宮廷舞踊・古典舞踊

3、女七踊りの着物、小道具

4、庶民生活を描いた雑踊り

5、近代踊りの創作踊り

6、県内各地に継承された民族舞踊

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　文化振興・教養学部

氏　名：　仲間　盛吉

1．テーマ

浦添と尚寧王

2．テーマ設定理由

・島津氏侵攻により、琉球最大の転換期を迎えた受難の国王。

3．項立て（概要でも良い）

①尚寧王の出自

②島津氏の侵攻

③尚寧王の江戸立ち

④徳川家康の厚遇

⑤尚寧王の帰国

⑥その後の琉球

⑦尚寧王の晩年

参考文献

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　文化振興教養　学部
氏　名：　中村　文男

1．テーマ

三線について

2．テーマ設定理由

現在、広く普及している「野村流声楽附工工四」は、野村流師範伊差川世瑞と世礼国男の共著です。世礼国男は、私と同郷で母校の校庭に胸像が設置されております。
1935 年初版本(声楽譜附工工四)の世礼への記念品授与披露宴記念写真(1937 年 1 月 28 日)に、世礼の同郷の中村英信(眼科医院長)、川前喜健(音楽協会ハワイ支部)が写っているのに興味持ち、調べる動機付けとなり、本テーマを設定した。

3．項立て（概要でも良い）

（1）三線について
①起源　②三線の形
③三線の材料　④三線の普及
⑤音曲

（2）工工四琉球古典音楽の楽譜について
①屋嘉比工工四　②知念工工四
③野村流工工四　④湛水流工工四
⑤安富祖流工工四　⑥声楽譜附工工四

（3）世礼国男について

（4）最後に

※参考文献
・沖縄大百科事典　沖縄タイムス社（1983 年）
・平成 26 年度　浦添市てだこ市民大学講座レジュメ「琉球芸能」
沖縄県立芸術大学学長　比嘉康春

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　文化振興・教養 学部

氏　名：　宮城　良典

1．テーマ

浦添てだこまつりの沿革と課題について

2．テーマ設定理由

今年度開催された、第３７回浦添てだこまつりでは、延べ１９万人の来場者が訪れた。屋富祖大通りを歩行者天国にして行われた前夜祭、子どもたちが出場するフットサル大会、キックベースボール大会、相撲大会などのスポーツイベント。サマーヤングフェスタ、青年エイサー、老人クラブ連合会によるカラオケ大会、市内外の団体が参加する三大王統まつり、演舞まつり、など多彩なイベントが３日間に渡り催された。

浦添てだこまつりは、他市町村のまつりよりも早い時期に開催されるとこともあり、県内にいち早く夏の訪れを知らせるまつりであり、てだこの愛称で親しまれる浦添市にとって大変意義のあるまつりである。

このように、浦添てだこまつりは、浦添市において来場者数や規模など最大のイベントである。しかし、いつから、どのように浦添てだこまつりは行われるようになったのかは、広く知られていない。そこで、浦添振興を目的に、浦添てだこまつりについて研究を行う。

3．項立て（概要でも良い）

（１）研究背景・目的

（２）浦添てだこまつりの沿革

（３）他市町村のまつりとの比較

（４）課題と今後の検討事項

（５）まとめ

（６）おわりに

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　文化振興教養　　学部

氏　名：　宮里　廣美

1．テーマ

義母の戦争体験を語り継いで

2．テーマ設定理由

102歳で亡くなった義母は、つらい戦争体験を、日に二度も二階にいる私のところに上がってきては繰り返し繰り返し話していた。それは、戦争を忘れてはならないという強い思いがあったからではなかったかと思う。義母の影響で、私も平和行進に参加したり、頼まれて義母の体験を代弁したりしてきたが、義母は自身の悲惨な生き地獄のような体験を語り継ぐ使命を私に託したのではないかと考えるようになり、本テーマを設定した。

3．項立て（概要でも良い）

1、戦前

義母の生い立ち、結婚、出産

2、戦中

南部へ移動・次々に親、妹達、我が子を失って・・・

戦場で叫ぶ声は届かず、瀕死の息子と離される

3、戦後

生まれ育った西原へもどる。

平成２４年、102歳で亡くなる

慎み深く、質素にひた向きに生きる

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：　文化教養振興　学部

氏　名：　銘苅　俊一

1．テーマ

屋富祖通りの活性化

2．テーマ設定理由

屋富祖通りは、３０年程前から人が減り始め、今ではシャッター通りになりつつあります。

このままではいかん、ちゃーすがやーという思いから活動したのが論文にしたきっかけとなります。

3．項立て（概要でも良い）

・屋富祖通りの歴史
・屋富祖通りの現状
・現在までに至る主な理由

①品川区とごしぎんざ商店街
②秋田県大仙市大曲（花火通り商店街）

・今後の屋富祖通り

平成26年度　卒業研究テーマ

地域・学校支援コーディネーター養成学部

	氏　名	テ　ー　マ
1	國吉　　稔 簔毛 美香子	遊び心の躍動　－風と光と人をつなげよう ～「新春たこあげ２０１５」の実施を通して～
2	野村　和美	地域の子を地域のネットワークで見守っていくために ～ボランティア活動からネットワークづくりを通して～
3	比嘉　満子	地域・学校へ広げよう　花の輪 ～花育を通して豊かな心、潤いのある暮らしを～
4	山内　孝子	地域・学校支援コーディネーターとしてできること ～それぞれ関わり方を深める～

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：地域・学校支援コーディネーター養成学部

氏　名：國吉　稔・簑毛　美香子

1．テーマ

遊び心の躍動、風と光と人をつなげよう
～「新春たこあげ 2015」をとおして～

2．テーマ設定理由

浦添市の課題の一つに「人口増加と生活スタイルの変化で人や地域のつながりが希薄化している」というのがあります。それは全国的な傾向のようでもあります。

このところ「女性が輝く社会」や「輝く女性」「女性管理者登用」等々、国を挙げて女性たちを輝かせるキャンペーンを展開していますが、女性はすでに輝いているような気がします。私たちは、大人も子ども多くの人々が輝ける地域を目指して、このテーマを取り上げました。

かつて凧あげは沖縄でもお正月の一大風物詩でありました。子どもと大人が一緒になって大空いっぱいに凧あげができたら、どんなに楽しいだろう。遊び心が躍動し、光と風と人がつながる新春凧あげを広く市民と一緒になってやってみたい。

そして、凧愛好家には自慢の沖縄伝統凧・創作凧を思う存分揚げてもらい、それをみた子ども達に大きな夢の翼を広げてほしい。

そんな思いで私たちは、てだこ市民大学在学中ならなんとかなるのではと、凧あげを計画・実践へと試みました。

3．項立て（概要でも良い）

1．テーマ設定理由
2．活動内容
　①イメージ
　②アプローチ
　③計画
　④凧づくり
　⑤実践
3．成果と課題
4．まとめ・今後の展開
5．終わりに

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：地域・学校支援コーディネーター養成学部

氏　名：野村　和美

1．テーマ

地域の子を地域のネットワークで見守っていくために
～ボランティア活動からネットワークづくりを通して～

2．テーマ設定理由

今までやってきた浦添中学校でのボランティア活動は、自分の子どもたちがお世話になり、その恩返しができたらと思い、始めたことが３年になりました。その３年間、教室に入れない子どもたちと勉強のこと、将来のこと、体のこと（タバコ）、友達のことなどを聞いてサポートしてきました。

いままでの活動を踏まえ、今後の地域活動として子ども達に声かけ、見守っていく一歩になってくれればということから、地域を巻き込み「三世代交流」の取り組みができたらと思い、このテーマにしました。

3．項立て（概要でも良い）

Ⅰ　学校・地域のネットワークづくり
①地域・学校支援コーディネーター（浦添中学校）
②おやじ・おふくろの会（旧浦添中学校卒業生保護者と現保護者）
③ゆんたく会（浦添中学校区保健福祉センター・ボランティア）

Ⅱ　実践活動の紹介（写真付き説明）
①畑づくりとジャガイモ植え
②カレーづくり
③グランドゴルフ大会
④餅つき大会

Ⅲ　今後やってみたいこと
①テーマ「三世代ゲーム大会」実践計画案
②目的・活動内容・方法
③大会日時・集合場所・対象

Ⅳ　まとめ

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：地域・学校支援コーディネーター養成学部

氏　名：比嘉　満子

1．テーマ

地域・学校へ広げよう　花の輪
～花育を通して豊かな心、潤いのある暮らしを～

2．テーマ設定理由

私は現在、花の講師として活動しております。きっかけは１５年間ＰＴＡ活動に携わっていましたが、その中で卒業式のコサージュ作成の為、花の教室へ技術を学び、講師の資格を取得することができました。

私の子ども達が在学中は、小学校、中学校、高校とコサージュの指導やアレンジメント講習等活動をしていましたが、卒業とともに学校や地域に関わることがなくなりました。

今回、地域活動として訪問看護者のご家族の方たちへのアレンジメント講習会を行うことで、地域に関わっていきたいと思いテーマを設定しました。

3．項立て（概要でも良い）

１．花育について

２．講習会の内容（資料　写真、案内文等）

３．成果と課題

４．今後の取り組み（学校、自治会への取り組み）

５．終わりに

てだこ市民大学

卒　業　研　究

学部名：地域・学校支援コーディネーター養成学部
氏　名：山内　孝子

1．テーマ

地域・学校支援コーディネーターとしてできること
～それぞれの関わり方を深める～

2．テーマ設定理由

この二年間、市民大学を通して浦添市の自治会について詳しく学んできました。浦添市には特色のある自治会が多く、歴史や伝統があり、地域活動のかなめになっています。

しかし、加入率は低く特に子育て世代の参加は低いという現状があることを知りました。実際私自身もＰＴＡ活動を通して地域を知り、また自治会の活動にも参加するようになりましたが、そうでなければ関心も薄かったと思います。共働きで子育て真っ只中の忙しい世代では自分の時間を確保するのもままならず、育ち盛りの子供たちのために学童や部活、習い事、そしてその集会や役員、役割に奔走しています。

そういう現状も踏まえながら地域の一員として地域と係る大切さを考えてみようと思いました。そしてその世代ならではの交流や支援の在り方を提案しようと思いテーマに設定しました。

3．項立て（概要でも良い）

（１）地域、学校を通して気づいたこと
①おじいちゃん、おばあちゃんのパワー
②内間５丁目について

（２）家族間交流を深める提案
①それぞれ３～４家族で交流
②地域行事への参加
③関わった大人の数が子供の学力向上につながる

（３）終わりに